

教員名	平岡 公一 (HIRAOKA Koichi)
所 属	文教育学部人間社会科学科応用社会学講座
学 位	社会学修士 (1980 東京大学)
職 名	教授
URL/E-mail	hiraokak@cc.ocha.ac.jp

◆研究キーワード

社会保障 / 社会政策 / 社会福祉 / 政策評価 / 政策科学

◆主要業績

総数 (6) 件

- ・平岡公一「社会福祉と介護の制度改革と政策展開」国立社会保障・人口問題研究所編『社会保障制度改革——日本と諸外国の選択』東京大学出版会、287～317頁、2005年12月。
- ・Hiraoka, Koichi, "Long-Term Care Insurance in Japan" in Hyunsook Yoon and Jon Hendricks (eds.) Handbook of Asian Aging, Baywood, pp.355-381, 2005.12.
- ・平岡公一「岐路に立つ日本の介護保険制度」武川正吾・イ・ヘギョン編『福祉レジームの日韓比較——社会保障・ジェンダー・労働市場』東京大学出版会、123～145頁、2006年3月。

◆研究内容

- 1) 科研費プロジェクト「日本型社会福祉システムの確立・変容過程の実証的研究——国際比較の視点から」のスタート：7名の研究分担者とともに3カ年計画で実施。日本の社会福祉システムの特徴と、その変容過程を明らかにすることを目指す。
- 2) 介護サービスの政策評価に関する研究：①研究レビューを学会誌に発表。②研究セミナーを開催し、研究交流を図った。③介護・福祉制度の新たな分析枠組みを開発し、80年代以降の制度改革の背景・経過・結果を分析し、論文として発表。④日韓比較研究の一環として、介護保険をめぐる政策展開を分析し論文を発表。⑤施設入所需要の分析について学会で発表。
- 3) 中高年女性のライフコースに関する研究：2世紀COEプログラムによる共同研究。
- 4) 社会保障制度制度の日本の特質に関する研究：韓国の学会で発表するとともに、論文を執筆。
- 5) その他：イギリスの高齢者保健福祉の動向、地域格差に関する意識について学会発表・論文発表。地域福祉計画の研究プロジェクトに参加。プログラム評価に関する教科書を翻訳刊行（監訳）。

◆教育内容

- <学部>
- 社会政策論Ⅰ：社会政策の政策科学的な研究の分析枠組みの概要を講義。
- 社会保障論：比較福祉国家研究の成果をふまえた社会保障・福祉国家の社会学的分析について講義。
- 社会政策論演習Ⅰ：英文の文献の輪読
- 社会政策論演習Ⅱ：社会政策・社会保障に関する特定の政策課題に関するテーマ研究
- 社会学研究指導1・2、卒業論文：卒業論文指導
- <大学院前期課程>
- 社会福祉論演習：各分野における最新の研究動向を示す論文の検討
- 社会福祉論特論演習：英文の基礎文献の輪読
- <大学院後期課程>
- 演習1、演習2：個別指導、研究発表と討議
- 教育活動について特筆すべき点は以下の通り。
- 1) social policy and administration 研究の枠組みに沿った体系的な社会政策論の講義は、日本では類例のきわめて少ない独自性のある取り組みと考えられる。
 - 2) 「社会政策論演習Ⅱ」における特定の政策課題に関するテーマ研究については、特に受講者の関心が高く、積極的な学習姿勢が目立った。

◆Research Pursuits

- 1) Analysis of the Formation and Change in the Japanese System of Social Welfare Services --- a new three-year project supported by The Grants-in-Aid for Scientific Research. This project aims to analyze unique characteristics of the Japanese system of social welfare from international perspectives.
- 2) Policy and Program Evaluation of Long-term Care Services --- a review article in an academic journal; a research seminar on the policy evaluation of the long-term care; a journal article on the reorganization of welfare services; a book chapter on the reform of the Long-term Care Insurance; a conference paper on the demand of the nursing home care.
- 3) Analysis of the life-course of the middle-aged women.
- 4) Development and reform of the social security in Japan.
- 5) Miscellaneous: a paper on eldercare in Britain; a book chapter on the attitudes to geographical inequality; research project on the community social planning; translation of a text on the program evaluation

◆Educational Pursuits

<Undergraduate courses>

Social Policy I: Outline of policy-oriented analysis of social policy
Social Security: Sociological approaches to social security and welfare state.

Social Policy Seminar I: Reading of an English text on social policy

Social Policy Seminar II: Analysis of a specific policy issue on social policy

<MA courses>

Social Welfare Seminar: Review of journal articles for major topics of social policy analysis

Social Welfare Seminar in Specific Topics of Social Policy: Reading on a text of specific topics of social policy.

<Ph.D. Courses>

Seminar I, Seminar II: Supervision of research and discussion

◆将来の研究計画・研究の展望

現在取り組んでいる研究、および今後取り組む予定の研究の主なテーマは以下の通りです。

1. 国際比較の視点にたった日本型社会福祉システムの変容過程の実証的研究
2. 新しい介護サービスのプログラムに関する実践的研究
3. 社会福祉・介護分野におけるプログラム評価の手法の開発と教育方法の検討
4. 生活リスクの変容に対応して社会保障改革のあり方と、改革に関わる合意形成の方法の研究

◆共同研究可能テーマ・今後実用化したいテーマ

- ・新たな介護サービスのプログラムの開発と評価
- ・介護・社会福祉に関する計画立案と評価のための基礎的研究
- ・海外の介護・社会福祉の先進事例の検討

◆受験生等へのメッセージ

他の国立大学にはあまりみられない本学の特色の一つとして、①家族に関する専門的研究を行っている社会学・心理学・経済学・法学等の研究者が揃っていて、「誕生から死」までの各ライフステージに即した研究と教育が行われていること、②年金・雇用・医療保障・社会福祉・介護を専門に研究している研究者が揃っていてこの分野の研究・教育が充実していることをあげることができます。このようなテーマを専門に勉強・研究したいと考えている受験生（学部、博士前期課程、博士後期課程の各レベル）のかたは、ホームページ等で授業科目や教員の専門分野を確認した上で、本学の受験を積極的に検討していただきたいと思います。